

警 防



消防ヘリコプター「カワセミ」

事業概要

火災などの災害をはじめ、年々激甚化する豪雨災害などから住民の生命や財産を保護するとともに、被害の軽減を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

また、住民ニーズの多様化や消防を取り巻く環境の変化に対応するため、山岳救助隊、水難救助隊、高度救助隊、特別高度救助隊などの専門部隊をはじめ、水上オートバイや災害用ドローンを配備し災害対応力の向上を図るとともに、消防ヘリコプター「カワセミ」の高速性と機動性を最大限に活かして、南アルプスまでの広大な地域を網羅し、ヘリコプターテレビ伝送システムを活用した迅速な被害状況の把握や上空からの効果的な救助活動などを行っています。

さらに、南海トラフ地震の発生時に危惧される同時多発火災に備え、静岡市内における消防水利の整備を計画的に進めています。

なお、令和4年度の組織機構改正により航空消防体制を再編するとともに安全対策課を新設し、災害活動体制と安全管理体制の一層の強化を図りました。

署 別 消 防 活 動 状 況

		総数			葵			駿河			千代田			
		件 数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	
火 災	その他・特命出動	19	102	336	7	20	69		1	4		10	28	
	第 1 出動	174	1,066	3,508	25	177	610	25	156	529	14	144	435	
	第 2 出動	24	298	1,043	4	53	190	3	38	136	1	50	175	
	第 3 出動													
	第 4 出動													
	上記のうち林野火災	5	47	136		1	3		1	4		6	18	
その他	誤報、号外等	71	478	1,598	12	103	371	15	95	336	10	88	264	
救 助	救助出動	254	1,074	3,570	32	171	570	51	198	693	41	203	667	
その他災害	偵 察	自動火災報知機鳴動	521	687	2,380	124	165	587	121	143	537	61	77	267
		怪煙（炎）	54	158	512	10	33	113	8	19	72	9	30	103
		その他	57	115	402	5	14	51	18	31	110	11	20	69
	警 戒	ガス漏れ	19	119	413	4	34	121	6	30	108	1	11	32
		危険物等	76	378	1,336	9	55	226	21	84	300	9	72	225
		その他	1	13	38		4	14		5	15	1	2	5
	PA連携		3,009	3,039	11,143	583	533	1,964	676	714	2,721	403	434	1,585
	危険排除		762	1,358	4,556	113	232	785	132	264	929	89	201	699
	風水害		12	21	70	2	3	10				1	1	4
	搜索		7	47	146	1	10	30	1	7	19	2	14	54
演 習 ・ 訓 練 等	火災調査	301	301	1,040	30	30	104	25	25	102	31	31	108	
	演習訓練	4,962	4,962	20,027	794	794	2,900	920	920	3,546	611	611	2,566	
	広報・訓練指導	880	880	3,132	97	97	350	121	121	427	105	105	404	
	警防調査	1,026	1,026	3,577	118	118	434	98	98	334	119	119	407	
	特別警戒	24	24	87	8	8	29	4	4	15				
	予防査察	473	473	1,644	74	74	243	90	90	341	65	65	233	
	その他	7,037	7,037	24,537	1,619	1,619	5,519	1,393	1,393	5,093	1,167	1,167	4,148	

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

清水			港北			日本平			島田			吉田			牧之原		
管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員	管内 受持 件数	出動 隊数	出動 人員
1	21	69	3	16	57	2	6	22	3	18	57	3	7	20		3	10
21	169	565	33	157	532	8	35	135	23	126	382	17	70	219	8	32	101
5	46	167	5	43	146		17	67	4	28	89	2	19	60		4	13
1	14	43	1	5	9	1	3	12	2	13	34		4	13			
12	75	242	3	16	54	3	21	83	9	42	127	4	28	87	3	10	34
26	118	430	27	117	392	9	16	60	41	147	441	16	77	230	11	27	87
59	78	287	30	36	126	19	20	75	54	79	244	40	76	212	13	13	45
1	7	20	13	36	106				5	12	38	5	16	43	3	5	17
10	26	91	1	3	10	5	6	24	6	12	38		1	3	1	2	6
2	12	46	1	5	19		1	3	1	10	35	2	11	31	2	5	18
8	46	169	16	66	222	4	20	78	4	16	56	2	11	32	3	8	28
	1	2		1	2												
371	333	1,296	253	286	1,043	176	183	712	305	305	1,005	140	148	468	102	103	349
101	167	570	88	158	518	22	28	107	124	180	553	61	94	280	32	34	115
1	1	4				1	1	4	1	5	14	5	7	24	1	3	10
	1	3		4	10	1	2	8	1	5	12	1	4	10			
39	39	142	59	59	207	24	24	94	27	27	80	57	57	168	9	9	35
540	540	1,995	669	669	2,461	460	460	1,835	462	462	1,760	158	158	553	348	348	2,411
93	93	372	127	127	386	159	159	616	78	78	215	35	35	115	65	65	247
111	111	412	182	182	621	97	97	370	207	207	675	69	69	219	25	25	105
2	2	7	5	5	18	3	3	12	2	2	6						
28	28	111	25	25	96	63	63	244	98	98	265	21	21	76	9	9	35
763	763	2,846	615	615	2,101	550	550	2,013	682	682	1,951	93	93	295	155	155	571

山 岳 救 助 隊

静岡市消防局山岳救助隊は、安全登山の一翼を担うべく、南アルプスや安倍奥等での搜索・救助活動のほか、各種訓練等積極的な活動を行っています。



山岳救助隊員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
千代田消防署 しずはた出張所 (山岳救助隊)	第1部	2	2	3		2	9
	第2部	2	2	3		2	9
計		4	4	6		4	18

山岳救助活動状況

(令和3年度)

	発生月	区分	内 容	場所	救助者等	出動隊員数	山岳救助隊員数 (内数)
1	4月	救助	朝日岳に登山中、登山道から滑落したもの。	榛原郡川根本町奥泉 朝日岳登山道	1人	24人	4人
2	4月	救助	下山中に道に迷ったため、通報があったもの。	葵区俵峰地内	2人	30人	4人
3	5月	救助	杉の枝払い中、上方に置かれた杉が転がり、体を挟まれたもの。	葵区牛妻地内	1人	18人	4人
4	6月	救助	斜面を約7m滑落、負傷し動けなくなったため、救助要請したもの。	葵区北沼上地内	2人	28人	4人
5	6月	救助	下山中に道に迷ったため救助要請したもの。	駿河区丸子地内	1人	22人	4人
6	6月	救助	登山者が約100m滑落した要救助者を発見し救助要請したもの。	葵区田代地内	1人	10人	6人
7	6月	救助	下山中に道に迷い、救助要請したもの。	葵区内牧地内	5人	21人	4人
8	7月	救助	斜面にうつ伏せで倒れていたもの。	榛原郡川根本町東藤川地内		15人	
9	7月	救助	ハイキング中、呼吸苦症状を訴え救助要請したもの。	清水区河内地内	1人	14人	
10	7月	救助	七ツ峰山頂から下山中に、道に迷い要請したもの。	葵区大間地内	1人	30人	6人
11	8月	救助	登山中に体調不良となり、歩行不能となったもの。	清水区由比阿僧地内	1人	19人	
12	9月	救助	山中の登山道から滑落し、負傷したもの。	葵区梅ヶ島地内	1人	18人	4人
13	9月	救助	下山中に右足首関節を負傷し、自力下山できなくなり救助要請したもの。	榛原郡川根本町 前黒法師岳登山道	1人	20人	4人
14	10月	救助	登山中、体調不良により歩行困難となり、救助要請したもの。	島田市大代地内	1人	13人	
15	11月	救助	ダイラボウをハイキングした後に体調不良を起こしたもの。	葵区小布杉地内		22人	4人
16	11月	救助	道路下斜面にて滑落し、左下腿部を負傷したもの。	榛原郡川根本町犬間地内	1人	18人	
17	12月	救助	登山中に転倒し、右肩を負傷したもの。	葵区下地内	1人	25人	6人
18	1月	救助	下山中に斜面を約80m滑落したもの。	清水区鳥坂地内	1人	24人	4人
19	1月	救助	下山中に脱水症状となり、自力下山不可能となったもの。	駿河区小坂地内 満観峰	1人	21人	4人
20	2月	救助	下山中に左足首を負傷し、救助要請したもの。	清水区大内地内	1人	17人	
21	2月	救助	下山中道に迷い遭難したもの。	清水区大平地内	2人	21人	3人
22	2月	救助	登山道で転倒し顔面を負傷したもの。	葵区俵峰地内	1人	17人	3人

静岡消防の概況

予 防 警

防 救

急

指

令

火災・救助統計

静岡市消防団

水 難 救 助 隊

静岡市消防局水難救助隊は、海、河川、湖など水辺での事故や災害に対応すべく、春夏秋冬を問わず年間を通して潜水訓練・救助訓練のほか地上消防隊との連携訓練等、各種水難訓練を積極的に実施しています。



水難救助隊員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
駿河消防署 用宗出張所 (水難救助隊)	第1部	1	1	3		1	6
	第2部	1	1	3		1	6
日本平消防署 (水難救助隊)	第1部	1	2	4			7
	第2部	1	2	4			7
計		4	6	14		2	26

水難救助活動状況

(令和3年度)

	発生月	区分	内 容	場所	救助者等	出動 隊員数	水難救助 隊員数(内数)
1	4月	救助	ボートが沖に流され座礁していたもの。	駿河区広野地内 広野海岸公園南側		22人	4人
2	5月	救助	サーフィン中に沖合へ流されたもの。	牧之原市静波地内 静波海水浴場沖合	1人	23人	
3	5月	救助	安倍川河川内に倒れていたもの。	駿河区緑が丘町地内 安倍川河川内	1人	22人	4人
4	5月	救助	水深約30 c m の河川に倒れていたもの。	清水区小河内地内 河川	1人	22人	4人
5	7月	救助	河川に流されているものと見間違え通報したもの。	葵区羽鳥大門町地内 藁科川左岸		23人	4人
6	7月	救助	漁船から乗組員が転落したもの。	榛原郡吉田町住吉地内 坂口谷川河口沖合	1人	22人	
7	7月	救助	河川で幼児が約100m流されたもの。	清水区立花地内 興津川		26人	4人
8	7月	救助	サーフィン中、沖合に浮いている要救助者を発見したもの。	牧之原市勝俣 鹿島海岸		12人	
9	8月	救助	沖合約50m付近で浮いていたところを発見したもの。	駿河区石部地内 用宗海岸	1人	27人	4人
10	8月	救助	テトラポット内に入り込んでいたところを発見したもの。	駿河区石部地内石部海上橋付近	1人	27人	4人
11	8月	救助	安倍川を浮き輪で流れていたところを発見したもの。	駿河区中島地内 安倍川	1人	31人	4人
12	9月	救助	由比漁港内の堤防から約10m付近で浮いていたもの。	清水区由比今宿地内 由比漁港内	1人	21人	4人
13	9月	救助	栈橋から入水しているところを発見したもの。	島田市川根町家山地内 野守の池	1人	17人	
14	11月	救助	河川内から自力で護岸に登ることができず、救助要請したもの。	葵区川合一丁目地内 巴川左岸		23人	4人
15	12月	救助	沖合でカヌーのトレーニングをしていたところを見間違えたもの。	駿河区根古屋地内 沖合		25人	6人
16	1月	救助	港湾内に転落し自力で上がれなくなったもの。	清水区宮加三地内 港湾内	1人	23人	3人

静岡消防の概況

予

防

警

防

救

急

指

令

火災・救助統計

静岡市消防団

特別高度救助隊

愛称：静岡・スーパー・レスキュー「SSR」

複雑多様化する特殊災害や東海地震等の大規模災害に対する救助体制の充実強化を図るため、創設された救助専門部隊です。専門的かつ高度な知識と技術を有する隊員で編成し、更に高度救助資機材（二酸化炭素探査装置、画像探索機、地中音響探知機、地震警報器、電磁波探査装置、水中探査装置）を装備し、管轄内の災害だけでなく広域的な緊急消防援助隊として応援出動する部隊です。近年では、平成23年3月の東日本大震災、平成25年10月の台風26号による東京都大島町の土砂災害、平成26年9月の御嶽山噴火災害への活動実績があります。



配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

所 属	部	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
駿河消防署	第1部	2	2	4			8
	第2部	2	2	4			8
計		4	4	8			16

特別高度救助隊活動状況

(令和3年度)

	月日		活動内容	場所
1	5月7日	訓練	水上オートバイ配備式	用宗漁港外港
2	5月11日～12日	訓練	操縦・操作技術効果確認訓練	駿河消防署
3	5月6日～6月30日	訓練	暑熱順化訓練	駿河消防署
4	6月27日～7月18日	訓練	特殊災害対応訓練	駿河消防署
5	7月13日	訓練	水難救助訓練（海上）	用宗海岸
6	7月17日～22日	訓練	NBC災害即応部隊強化訓練	駿河消防署
7	8月17日～23日	訓練	水難救助訓練（河川）	安倍川左岸
8	10月16日	訓練	多数傷病者対応訓練	駿河消防署
9	11月2日	訓練	国道150号 新日本坂トンネル内防災訓練（警察、志太消防合同）	新日本坂トンネル
10	11月16日	訓練	東名高速道路 日本坂トンネル防災訓練	日本坂トンネル
11	11月18日～19日	訓練	高度救助研修	駿河消防署
12	1月28日	訓練	久能山東照宮消防訓練	久能山東照宮

国際消防救助隊

国際緊急援助隊の派遣に関する法律に基づき、海外の地域において大規模な災害が発生し、被災国の要請を受け消防庁長官の出動決定がなされた場合に、海外へ派遣出動する体制を確保しています。



登録隊員配置状況

(令和4年4月1日現在)

所 属	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	計
葵消防署			1			1
駿河消防署		1	1	2		4
千代田消防署				1		1
清水消防署			2	1		3
港北消防署				1		1
島田消防署						
吉田消防署						
牧之原消防署		1				1
計		2	4	5		11

訓練等活動実績

(令和3年度)

月 日	活 動 内 容	場 所	派遣人員
4月30日、6月15～16日、 10月7日、11月20～21日、 1月8日	第1回～5回国際消防救助隊訓練	静岡市消防局 駿河消防署 牧之原消防署	11
10月31日～11月4日	国際緊急援助隊救助チーム総合訓練	兵庫県立三木総合防災公園 兵庫県広域防災センター ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター	1
12月21日～22日	東海地区国際消防救助隊連携訓練	名古屋市消防局 消防学校防災訓練場	4
1月18日～20日	国際消防救助隊連携訓練	浜松市消防局 旧浜松市立南庄内小学校	3

静岡消防の概況
予
防
警
防
救
急
指
令
火災・救助統計
静岡市消防団

消 防 航 空 隊



「富士川滑空場において救助訓練を実施する、消防ヘリコプター カワセミ」

航空消防業務体制

静岡市は、ユネスコエコパークにも登録されました 3,000m 級の山々が連なる南アルプスから駿河湾までの広大な市域を有しており、ヘリコプターの高速性及び機動性を活かし、山林火災における空中消火、山岳遭難者の捜索や救助、救急搬送、海や河川等における水難事故に効果的に対応することができます。その他にもヘリコプターテレビ電送システム等を活用し、災害初期からの情報収集の強化が図られ、社会情勢の変化とともに複雑多様化、大規模化する各種災害に迅速に対応しています。

平成 28 年度からは消防広域化が図られ、火災、救急及び救助災害等による広域化市町の災害にも対応しています。

また相互応援協定及び緊急消防援助隊により近隣市町をはじめ全国規模の災害応援にも対応しています。

隊員配置状況

(令和4年4月1日現在)

階級 所属	消防司令長	消防司令	消防司令補	合 計
航空課	2 人	7 人	3 人	12 人
	航空隊長 航空副隊長 (整備士)	航空隊員 2 操縦士 4 整備士 1	航空隊員 2 整備士 1	航空隊長 1 航空副隊長 1 航空隊員 4 操縦士 4 整備士 2

消防ヘリコプターの諸元及び主要装備

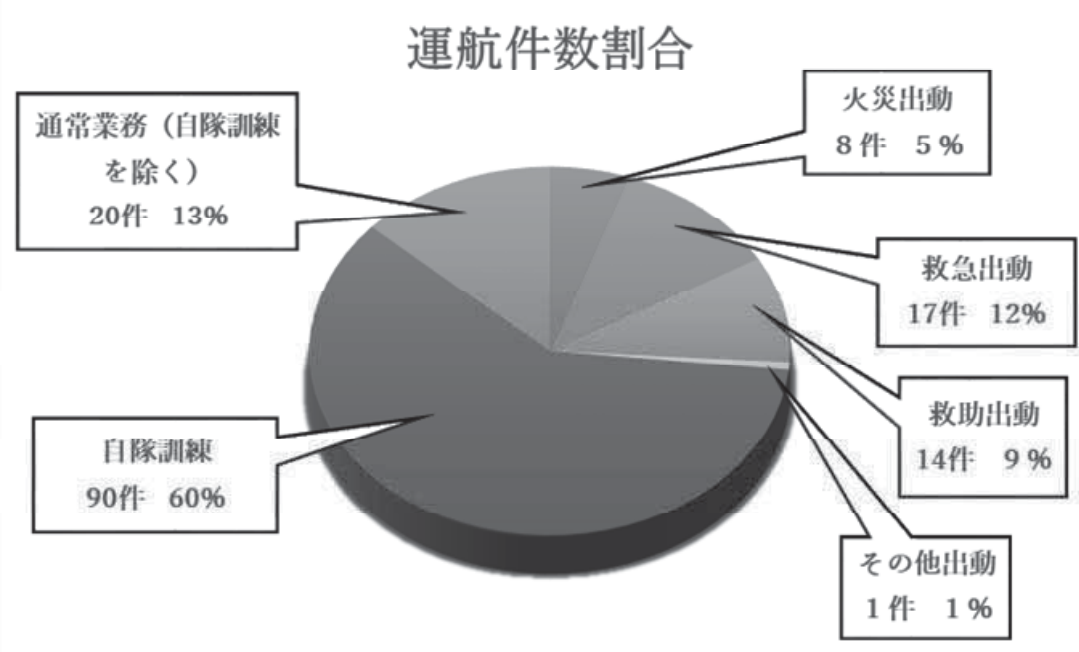
性 能 ・ 諸 元		主 要 装 備	
型 式	ベル式 412EP 型	ホイスト装置	吊り下げ能力 272kg
愛 称	カワセミ		ケーブル長 76m
登 録 番 号	JA119P	ラペリング装置	4 名同時降下可能
エンジン型式	PT6T-3D 型 (軸出力 900 馬力×2)	消火タンク	1,420ℓ (自給可能式)
		消火バケット	1,000ℓ (容量調整機能付)
全長 (主回転翼含む)	17.1m	カーゴスリング装置	2,041kg
全幅 (主回転翼含む)	14.0m	担架装置	3 台搭載可能
全 高	4.6m	ストレッチャー装置	1 台搭載可能
座 席 数	15 座席	機外拡声装置	700W
全 備 重 量	5,398kg	サーチライト	3,000 万カンデラ
最大巡航速度	226km/h	可視・赤外線カメラ	
最大航続距離	656km	全方位カメラ	
最大航続時間	3 時間 50 分	ヘリコプターテレビ電送システム	
最大運用高度	6,096m	ヘリコプター動態管理システム	
燃料タンク	1,251ℓ	衛星電話	

消防航空隊活動状況

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

区分	項目		運航件数 (件)		運航時間 (時間)	救助・搬送人員 (人)	
災 害 出 動	火災出動		8	静 岡 市	5	6:27	
				島 田 市	1		
				牧之原市	2		
				吉 田 町			
				川根本町			
	救急出動		17	静 岡 市	14	7:20	19
				島 田 市	1		
				牧之原市			
				吉 田 町			
				川根本町	2		
	救助出動		14	静 岡 市	10	7:30	14
				島 田 市	1		
				牧之原市	1		
				吉 田 町			
				川根本町	2		
	その他	管内	1	静 岡 市		0:40	
				島 田 市	1		
牧之原市							
吉 田 町							
応援出動 (管外)	火災出動						
	救急出動						
	救助出動						
	その他						
災害出動合計			40		21:57	33	
通 常 業 務	応援業務	訓練					
		その他					
	運航管理 業務	自隊訓練	90		108:05		
		試験・検査	4		1:55		
		その他	2		1:45		
	消防業務	調査・撮影	5		5:15		
		訓練	7		6:45		
		その他					
	行政運航		2		2:05		
通常業務合計			110		125:50		
総 計			150		147:47	33	

- ※ 火災出動：火災現場における消火活動、情報収集活動等
救急出動：傷病者、医師及び医薬品等の救急搬送
救助出動：人命救助を目的とした救助活動、捜索活動
そ の 他：上記災害出動以外の出動及び応援出動
応援出動：緊急消防援助隊または応援協定等により管外へ出動した件数
- ※ 運航件数については、救助出動において要救助者を救助しヘリコプター内へ収容した後、医療機関等へ搬送することにより、1つの事案に対し救助出動と救急出動の2つの災害出動が計上される。



年別災害出動件数 (件)

災害種別	火災出動		救急出動		救助出動		その他出動 (うち応援出動)		合計
平成 29 年	8		31		26		4(2)		69
平成 30 年	3		9		8		8(7)		28
令和元年	6		15		15		13(10)		49
令和 2 年	9		9		11		20(18)		49
令和 3 年	8	静岡市 5	17	静岡市 14	14	静岡市 10	1(0)	静岡市	40
		島田市 1		島田市 1		島田市 1			
		牧之原市 2		牧之原市		牧之原市 1			
		吉田町		吉田町		吉田町			
		川根本町		川根本町 2		川根本町 2		川根本町	

※ 応援出動は、静岡県消防防災航空隊が運航不能時に静岡県航空消防相互応援協定により管轄区域外へ出動した件数です。

整備関係業務

ヘリコプターの安全運航の維持に万全を期するため、日常点検、定時点検等の点検整備を行っており、また、航空局発行の耐空性改善通報（TCD）による検査、整備、改造等の指示に従い、特別整備等も実施しています。

令和3年度中の長期点検整備実績

内 容	期 間	日 数
6 か月点検	令和3年6月14日～令和3年6月25日	12 日
年次点検（耐空検査）	令和3年10月4日～令和4年2月16日	136 日
合 計		148 日

管内離着陸場等

（令和4年4月1日現在）

		場外離着陸場	緊急離着陸場	レスキューポイント
静岡市	葵区	14	43	60
	駿河区	1	9	13
	清水区	3	25	16
島田市		1	17	36
牧之原市		1	21	18
吉田町		1	4	20
川根本町		2	21	15
合計		23	140	178

※ 場外離着陸場

飛行場以外の臨時のヘリコプター離着陸場で、必要な空域と周囲の安全が確保されると認められる場合に、運航者の事前の申請に基づき国土交通大臣が許可する場所。

※ 緊急離着陸場

航空法第81条の2（搜索又は救助のための特例）が適用され、災害活動等、緊急時のみに離着陸できる場所。

※ レスキューポイント

場外離着陸場及び緊急離着陸場のない中山間地等において、ホバリングによる救助、人員搬送、物資搬送等を目的とした緊急救助用スペース。

静岡市及び２市２町の消防水利状況

(令和４年４月１日現在)

			静岡市	島田市	牧之原市	吉田町	川根本町
消火栓	総数		12,200	1,118	799	517	
	公設		12,044	1,118	799	517	
	私設		156				
防火用水槽 (40㎡以上) ※飲用水兼用 耐震性貯水槽を含む	総数		1,509	386	352	23	235
	公設	耐震性	833	261	179	16	136
		非耐震性	504	117	168	3	99
	私設	耐震性	32	5	3		
		非耐震性	140	3	2	4	
防火用井戸	総数		857		2	39	
	公設	耐震性	335				
		非耐震性	496		2	39	
	私設	耐震性					
		非耐震性	26				
プール	総数		247	34	17	5	10
	官有		237	32	16	5	10
	民有		10	2	1		

地震対策用消防水利施設整備状況（静岡市）

整備登録	計	耐震性貯水槽			飲料水兼用 耐震性貯水槽		さく井式 防火用 井戸
		100m ³ 型	60m ³ 型	40m ³ 型	100m ³ 型	60m ³ 型	
昭和51年	5	1		4			
昭和52年	98	41		57			30
昭和53年	72	34		38			33
昭和54年	67	22		45			17
昭和55年	36	7		29			19
昭和56年	28	8		20			18
昭和57年	27	6		21			19
昭和58年	22	3	3	15	1		21
昭和59年	19		5	14			22
昭和60年	16		6	8	2		11
昭和61年	9		4	5			13
昭和62年	13	1	4	8			13
昭和63年	28		3	24	1		11
平成元年	27		5	22			12
平成2年	17		3	14			13
平成3年	24			21	3		11
平成4年	18		4	13	1		8
平成5年	22		2	18	2		10
平成6年	13	1		11		1	6
平成7年	14		1	12	1		3
平成8年	17	1		10	5	1	1
平成9年	19	1		12	6		3
平成10年	14	1		9	3	1	5
平成11年	10	1		8	1		4
平成12年	8	1	1	5	1		4
平成13年	10	2		7	1		
平成14年	9	2		6	1		8
平成15年	10	2		7	1		1
平成16年	14	1	1	12			4
平成17年	3			3			2
平成18年	3			3			
平成19年	12			11	1		1
平成20年	7	1		5	1		
平成21年	5	1		4			1
平成22年	4			4			1
平成23年	3			3			2
平成24年	4			4			3
平成25年	9			9			2
平成26年	30	8		22			1
平成27年	15			15			1
平成28年	3			3			1
平成29年	7			7			
平成30年	4	2		2			
令和元年	1			1			
令和2年	1	1					
令和3年							
不明	36	4	1	31			
総数	833	153	43	602	32	3	335

静岡消防の概況
予
防
警
防
救
急
指
令
火災・救助統計
静岡市消防団